



ルー  
テル

# 藤が丘だより

発行 月報委員会 発行日 2019年5月5日

No. 60

恐れるな。わたしは最初の者にして最後の者、  
また生きている者である。一度は死んだが、  
見よ、世々限りなく生きて、死と陰府の鍵を持っている。

ヨハネの黙示録 1章17節c-18節



礼拝献花より

神と共に 人と共に

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏  
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009  
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: [fujigaoka@jelc.or.jp](mailto:fujigaoka@jelc.or.jp)



## シリーズ説教

### 『復活の言葉』

牧師 佐藤和宏

ルカ24章1節～12節

「キリスト者の自由を読む」という一冊の本を宗教改革500年にあたる2017年、私たちは読書会をし、また江口再起先生から学びました。その本の中で、鈴木浩先生が次のように書いています。

「アウグスティヌスとの論争で、ペラギウス派は『神は正しい人を義とする』と主張しました。それに対してアウグスティヌスは『神は罪人を義とする』と主張しました。そして、その根拠として『ぶどう園の労働者』のたとえを持ち出しました。――内容は先ほどすでに触れた通りです――『人間の正義』の感覚からすれば、とうてい受け入れられない雇い主の態度です。

アウグスティヌスが言いたかったのは、『神の正義(義)』を『人間の正義』の尺度で判断してはならない、ということでした。神の正義は、『わたしはこの最後の者にも、あなたと同じ

ように支払ってやりたいのだ』という主人の言葉に示されています。人間の正義は、労働時間(功績)に見合った賃金(報い)を要求します。しかし、神の正義は、労働時間に関わりなくすべての労働者に同じ賃金(報い、つまり救い)を差し出しています。神には神の判定基準がある、ということなのです。」

さて、復活の朝の出来事について、与えられたルカによる福音書からみてまいりましょう。復活の朝の場面から私たちは、人間の判断基準、人間の正義というものが、復活という神の喜びの出来事を見失わせていることを知らされます。

夜が明けるのを待ちかねるかのようになり、墓に向かった婦人たちは、石が転がされてあるのを「見た」のですが、イエスの遺体を「見いださなかった」ので、途方に暮れたといえます。人間の判断基準、こうあるべきという正義では、十字架の死を遂げられたイエスは墓の中に置かれたままであるはずなのです。婦人たちが朝早く、墓に来たのは当時の習慣に従ってイエスの遺体に香油を塗り、

永遠の別れを告げるためでした。その目的が今や果たせないという現実の前に、婦人たちは「途方に暮れた」のでした。婦人たちが「途方に暮れた」のは、神の出来事に対し、自分たちの常識や知識、経験といった判断基準にとらわれたからなのです。

この「途方に暮れる」と訳されているギリシヤ語は、合成動詞なのですが、「ない」という言葉と、「道、手段」という意味の2つの言葉からなっています。つまり、墓に置かれたはずのイエスの遺体が無かったために、婦人たちは「道がなくなった」「なす術を失った」ということなのです。それもそのはずです。死を象徴する「墓」は、人間の限界を意味していますから、もはやその先に道はない。これが人間の判断であり、それは人を途方に暮れさせるのです。道を見失わせるのです。

そこに「二人の人」が現れ、「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。」と話しかけます。ここに神の判断基準が示されています。人間の判断基準では、十字架の死を遂げられたイエスは、墓の中におられるはず

でした。私たち人間の限界である死によって、主イエスも同じように限界の前になす術を知らないかのようになされたのです。しかし、神の判断は「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか」と告げるのです。

人間の判断に従って「途方に暮れた」婦人たちに道を開いたのは、「言葉」でした。それは「まだガリラヤにおられた頃、お話しになったことを思い出しなさい。人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」という言葉でした。それを聞いた婦人たちは「イエスの言葉を思い出した」というのです。

イエスが言われた言葉が、道を失った者に道を開いたのです。人間の価値判断によって生きてしまう私たちですから、繰り返して聖書を通して神の判断基準に聞き入ることが必要なのです。ですから私たちは、主イエスが復活された週の初めの日の朝、礼拝の場に繰り返して集められ、御言葉に聞き入って、新たな道を歩み始めるのです。

(復活祭・イースター)

## ■フィンランド信徒宣教師

### ハンナ・ペンツティネンさんのこと。

山〇〇子

に使いこなして驚くほどもです。

ハンナさんは、当初から、誰に対しても同じ態度で、気さくに接して下さり、また、心優しく、かわいらしい人でしたから、誰もが自然に打ち解けてお話ができたのではないのでしょうか？

4月7日、久しぶりにハンナさんが礼拝にいらしてくださり、前奏も弾いてくださいました。

礼拝後は、女性会の方々の手作りランチで、楽しく和やかなお別れ会ができました。

ハンナさんは、2013年に日本に来日され、2014年から一年間私たちの教会で礼拝を共にしました。最初の頃は、日本語を十分理解してはと言えませんでした。

四谷の日本語学校に通っていて毎週テストに追われ、本当に一生懸命、勉強されていました。今では、とても流暢な日本語を話し、漢字も自由



■初めて藤が丘教会に来た記念の一枚

羽村教会に移られた後は、あまりお会いできませんでしたが、それでも、いつでも変わらない姿勢で接してくれました。

ハンナさんは、羽村教会では、教会で月2回、礼拝でオルガン演奏をしたり、讚美歌委員会に参加されたり、またバザーコンサートの演奏もされていたとのこと。また、羽村幼稚園では、毎週、園児たちに聖書のお話をされていたとのこと。ですから、今年3月末の卒園式では、園児たちと別れるのがとても悲しかったようです。

一人一人の園児とお別れの握手、ハグ、離れられない子供たち、泣き出す子どもたち。その様子を撮った写真や動画

をみせていただきましたが、ハンナさんが一人一人に優しく話しかけ、丁寧にお別れをしていて、胸打れるものがありました。きつと子供たちの胸には、フィンランドから来た、綺麗でやさしい先生との思い出がずっと心に残ることと思います。

4月25日、ハンナさんは6年間のミッションを終わられて、市ヶ谷教会、藤が丘教会、羽村教会でのそれぞれの思い出を胸に帰国されました。フィンランドに戻った後は、夏までは、彼女が属するミッション団体SIPが支援する教会へ訪問したり、その報告書を作成する仕事があり、またその団体でもお仕事があるそうです。

7月は少し夏休みがあつて、8月1日からは日本に来る前と同じ仕事、Manttaという町にある国教会でオルガニストとしての仕事に戻るのでそうです。ハンナさんの住んでいる町は、首都ヘルシンキから400キロも離れた、人口4千人の小さな町だそうです。森や湖に囲まれ、冬はオーロラが見える静かな町のようなです。

帰国間際に、ハンナさんが、「8



月に入るまでは忙しくしているけれど、秋になって落ち着いた頃、きつと、とても日本が恋しくなつて寂しくなると思う。」と話していました。私も本当に別れが寂しく思いましたが、来年の東京オリンピックが終わったところに、必ず、また日本に来て、藤が丘教会にも来ると約束してくれましたので、その再会を楽しみにしています。

ハンナさん、是非、また大好きな納豆、お豆腐、梅干しを食べに帰ってきてください、待ってます。!(^^)!

ちよつとだけ、ハンナさんのプロフィール紹介

ピアニスト、オルガニスト  
2007年 フィンランドのシベリウスアカデミー音楽大学にて教会音楽科卒業

2010年 サブオニア専門学院にて音楽教育学卒業

■ハンナさんを囲んで。



■今月の受洗記念日の皆さん

- 14日 ○田○兄
  - 15日 上○哉兄
  - 17日 ○田知○姉
  - 21日 ○藤○子姉
  - 25日 ○野○兄
  - 26日 ○谷かな○姉
  - 31日 ○谷○葉姉
- おめでとうございます。



喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。  
ローマの信徒への手紙 12章 15節

■エアコン献金について③

エアコン献金の目的は、昨年の役員会議事録にありますように、この2、3年のうちに実施予定の「会堂外壁工事」を考慮してのことでした。前回2010年に実施された外壁工事から間もなく10年が経とうとしており、実施には大きな額が考えられます。ですから、今回エアコン設置のために支出した額の一部でも補って、次の工事に備えたいと考えたのです。皆さんにはわかりにくい部分もあったかもしれませんが、その点は深くおわびします。しかし献金について、それだけでなく種類が多いとの声をいただいてもおりましたので、あえて目標額も献金の方法も特に設定せず、それぞれ自由に献金していただければと考えた次第です。

■今後の予定

- 講演会 5月26日(日) 12時半～14時  
「ふしぎな「神教」 橋爪大三郎氏
- ホームカミングデー 6月2日(日)  
礼拝 午前10時半～ 交わり礼拝後～14時  
説教者 小副川幸孝牧師
- ゴスペルコンサート 6月22日(土) 14時  
塩谷達也&美和夫妻

以上、エアコン献金に至る経緯について説明させていただきました。ご不明な点がありましたら、遠慮なく牧師、役員までお問い合わせいただけます。(定)

ホームカミングデー

●礼拝と交わり

2019年6月2日(日) 10時半

説教 小副川幸孝牧師

※礼拝後、軽食を用意しています。

日本福音ルーテル藤が丘教会

横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 ☎ 045-973-2729

<https://www.jelc-fujigaoka.org/> [fujigaoka@jelc.or.jp](mailto:fujigaoka@jelc.or.jp)